

令和6年度 建設業の「新しい働き方」セミナー

「2024年問題」の解決へのヒント

ぎふ働き方改革推進支援センター
鵜飼隆郎（中小企業診断士）

はじめに

「『2024年問題』があるから、建設業界は大変だ！」
皆さまにとって、聞き飽きた言葉ではありませんか？

確かに、建設業をめぐる状況は一層厳しさを増しています。
でも「大変だ！」と言うだけでは何も前に進まない、
ということも、皆さまは十分理解されていらっしゃるはず。

『どのような方も、必ず解決できる方法』について、
私が申し上げることはできません。
しかし『ヒントになること』であれば、提示できるのでは？
と考えます。

本日の内容

- 1 . 「2024年問題」がもたらすもの
- 2 . 「2024年問題」を解決するために
- 3 . 他社事例に学ぶ

1. 「2024年問題」がもたらすもの

時間外労働の上限規制が、建設業にも適用（2024年4月）

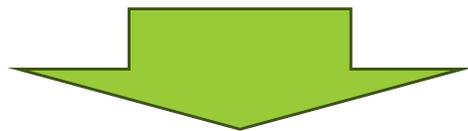
その他、建設業界に影響する制度改正

労働時間の客観的把握の義務化（2019年4月）

有給休暇の年5日間の消化（2019年4月）

時間外労働の割増賃金率の引上げ（2023年4月）

インボイス対応による「一人親方」の減少のおそれ（2023年10月）



決められた工期を達成するための、**マンパワー不足**が懸念
長時間労働による**コスト負担の増加**

2. 「2024年問題」を解決するために

《業務全体の流れ》



それぞれの業務において、マンパワー不足の解消・コスト負担の軽減を図る

一層の業務効率化・省力化の推進
(施主・元請にも協力を求めましょう)

それぞれの業務の効率化（1）

業務	対応策	
引合い 受注	低採算受注の回避	見積精度の向上 自社の原価構造を把握
	適切な工期設定	工事の難易度を適切に評価
着工準備	資材などの調達の最適化	仕入先との良好な関係の構築 調達数量・価格の適正化
	人材の安定的採用	進路担当の教職員とのコミュニケーション 求人票の見直し・改善
		外注先の適切な確保

自社で『できること』『できそうなこと』から始めましょう

それぞれの業務の効率化（２）

業務	対応策	
着工 施工	適材適所の人材投入	的確な能力評価 （「建設キャリアアップシステム」の活用など）
		教育訓練体制の充実・マニュアル化の推進
		熟練者のノウハウ継承
	時間外労働の抑制	人員配置・作業の見直し 詳細は次ページ
		適切な進捗管理
		最新の技術・設備の活用（ICT建機の導入など）
完成 引渡し ・完成後	施主・元請などとの 円滑なコミュニケーション	進捗状況の情報共有 （スケジュールの共有、写真・動画の提供）
		チャットツール、オンライン打ち合わせの活用

自社で『できること』『できそうなこと』から始めましょう

時間外労働の抑制 過大な残業はなぜ起こる？ 自社の原因を正しくつかむ

例 1 能力や作業量に見合う人員配置ができていない

- ・ 各人の能力を適切に把握、能力のレベルアップを図る
- ・ 複数現場の掛け持ちを避ける
- ・ 繁忙に合わせた適正人員を確保する

例 2 作業順序が合っていない

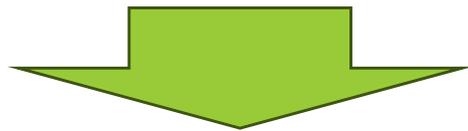
- ・ ボトルネック（最も時間・労力を要する作業）は何か？
- ・ 同時にできる作業はないか？
- ・ 順序を入れ替えることはできないか？

『なぜ？』を5回繰り返し、原因を掘り下げて考えてみましょう

3 . 他社事例に学ぶ

効率化の必要性について、
現在の経営者（50～70代の年齢層）は認識できているか？

.....長時間労働をいとわず、
時間をかけて働けば働くほど収入が増えた世代



経営者だけで対応策を考えるのは困難

.....同業者だけを参考にしていないか？
異業種・他業種にヒントはないか？

《ある漫画家の話》

新人「より面白い漫画を描くには
どうすればいい？」

巨匠「漫画だけ勉強していても、
良い漫画は描けない」

他社事例を探す方法

ネット検索

- ・ 検索対象を「1年以内」（「1か月以内」も可）に指定
- ・ 複数キーワードの組み合わせ
例）「効率化 中小企業 事例」（語句の間にスペース）

生成 A I

「ChatGPT」
「Copilot」
「Gemini」など

- ・ 話し言葉で入力
例）「中小企業の効率化について、最新の事例を紹介する
WEBサイトを5つ提案してください。」

公的機関の ホームページ

- ・ 厚生労働省、岐阜労働局
- ・ 経済産業省
- ・ 中小企業庁、中小企業基盤整備機構
- ・ 岐阜県庁、各市町村 など

生産性向上のヒント集（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000935033.pdf>

代表的な助成金を紹介するとともに、生産性向上によって労働時間の削減や、賃金の引上げなどを行った事例を掲載。



「働き方改革推進支援センター」支援事例2023（厚生労働省）

https://hatarakikatakakaikaku.mhlw.go.jp/assets/img/download/pamphlet_14.pdf

全国の働き方改革推進支援センターが行った、サポート事例を紹介。

「働き方改革推進支援センター」支援事例2023

「働き方改革推進支援センター」は、中小企業・小規模事業者の皆さまの働き方改革の取り組みを支援することを目的として、全国47都道府県に設置されています。センターでは、**労務管理の専門家が無料**で、時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金、その他働き方改革を広く支援する取り組みに関する個別相談やコンサルティングを実施しています。働き方改革に取り組みたい中小企業・小規模事業主の皆さま、是非ご相談ください！



- 労働時間・休暇のサポート事例 P1~5
- 同一労働同一賃金のサポート事例 P6~11
- 効率化・改善のサポート事例 P12~14
- 労務管理・就業規則の作成や見直しのサポート事例 P15~21
- 助成金活用のサポート事例 P22~23

 **厚生労働省**
Ministry of Health, Labour and Welfare

「生産性を高めたい」（中小企業基盤整備機構）

<https://j-net21.smrj.go.jp/handbook/productivity/index.html>

同機構が運営するページ「J-Net21」において、企業経営に役立つ知識をまとめた「経営ハンドブック」内の、「生産性を高めたい」にて生産性向上・業務効率化に関する記事を掲載。

随時更新



終わりに

「2024年問題」の解決方法は、一言で申し上げれば
「一層の業務効率化・省力化の推進」となるでしょう。

では、どんなことに取り組むべきか。

それは、皆さまの置かれた状況によって異なります。

『どのような方にも、必ず解決につながる方法』について、
私が示すことはできません。

でも効率化について『できること』『できそうなこと』、

『何かヒントになること』を探す方法があります。

今回申し上げた内容が、ご参考いただけましたら幸いです。

ご清聴ありがとうございました